

## 【4】清水地区を支える団体(平成20年現在)

### ◎清水地区公民館・町内会・自治会

清水地区公民館・町内会・自治会は、13ヶ町で構成されています。

地域の生活環境の整備や防犯・防災活動の推進、各町が抱える諸問題への対応、市連合町内連絡協議会や市保健環境連合会の連絡事項等に関する話し合いを、3ヶ月に1回行っています。

また、清水小学校区親睦球技大会を毎年10月に開催しており、住民同士の親睦が図られています。



### ◎清水地区民生委員・児童委員協議会

清水地区民生委員・児童委員協議会は、地域の相談援助活動の担い手として、各町から選出された民生委員・児童委員17名と、主任児童委員2名の計19名で構成しています。

私たちは、「常に住民の立場に立って相談に応じ、援助を行う」をモットーに、個人の情報保護、守秘義務等を守りながら、行政とのパイプ役になるよう日々活動しています。

これからも、地域住民の皆様の民生委員・児童委員へのご理解とご協力をお願いいたします。



### ◎清水小学校

清水小学校は八幡小学校と保立小学校が統合し、平成16年に開校しました。現在学級数16、児童数418名です。校舎内は明るく、教室と廊下の境の壁がない、広々とした開放的な空間の中で、子どもたちは伸び伸びと活動しています。

この度、平成20年度公立学校優良施設として、全国最高賞である「文部科学大臣奨励賞」を受賞しました。現在、建物だけでなく中身も日本一になるよう努力しているところです。また、保護者の皆さんも協力的で、子どものためならと、よく学校に足を運んでいます。

地元俵町商店街の協力を得ながら「起業家体験学習」や「職場体験学習」を実施するなど、地域を組み込んだ教材開発に取り組み、総合的な力を高めるために頑張っています。



### ◎清水中学校区青少年健全育成会

健全育成会では、「地域の子どもは地域で守る」を合言葉に、学校と地域が連携して危険箇所の見まわりや、登下校時のあいさつ運動、街頭補導、ココロねっこ運動の啓発活動など、子どもたちの健全な育成に取り組んでいます。

このほか、平成20年で5回目を迎えた田植・稲刈り体験は、子どもたちのほか地域の多くの方々が参加しており、貴重な交流の場となっています。10月の稲刈りのあと、3月には餅つきを行い、できあがった紅白餅は、校区内にある4つの小中学校の卒業生全員に配られることになっています。



## 【5】清水地区福祉対策推進協議会の紹介

### どのような団体？

福祉対策推進協議会（略称：福対協）は、地域住民の身近な困りごとを把握し、その解決に向けて住民参加による活動に取り組み、より住みやすい地域づくりを進めている組織です。

清水地区福対協は、平成17年にそれまでの保立地区と八幡地区が合併して設立され、構成団体のメンバーを中心に、住民の皆さんと一緒にさまざまな活動に取り組んでいます。

### どのような人たちがメンバー？

民生委員児童委員、公民館・町内会・自治会、婦人部、老人クラブ、PTA、小・中学校など、幅広いメンバーで構成されています。

### 主な活動は？

福対協では、地域が抱えている福祉問題や住民のニーズにあった活動に取り組んでいます。ここでは、主なものを紹介いたします。

#### ふれあいネットワーク

近所づきあいが少なくなっていく中、「地域のみんなでお互いに見守り助け合っていきましょう。」という趣旨で、主にひとり暮らしの高齢者を対象とした活動です。

清水地区では約30名の方が対象となっていて、隣近所の方がそれを支えるネットワークの構成員となり、安否確認などの活動をしています。

#### 食事サービスボランティア

清水地区には、2つの食事サービスグループ（梅田婦人部・保立町2組長生会）があり、地域のひとり暮らしの高齢者などを対象に、年に5回から7回、季節に合わせた献立を考えながら食事を提供しています。

自宅にお弁当を配ったり、公民館で会食をしたりしながら、高齢者の地域での生活を支援しています。



#### ふれあいいいききサロン(デイクラブ)

地域の公民館などに、近くに住んでいる住民が集まり、共同で企画を考えながら運営していく、楽しい仲間づくりの活動です。

清水地区には3つのグループがあり、民謡・フラダンス・茶話会など、参加する皆さんが地域の中で「楽しく」、「無理なく」交流をしています。皆さんもお気軽にお立ち寄りください。



これからは、地域のさまざまな団体が共に連携を深め、一緒に活動していくことでさらに充実した活動につながるのではないのでしょうか。

地域で活動されている団体の情報がありましたら、ぜひお知らせ下さい。